

地方独立行政法人明石市立市民病院の積立金の
次期中期目標期間への財源充当について

1. 地方独立行政法人明石市立市民病院の積立金の状況

(1) 第1期中期目標期間終了時の積立金残額（見込）・・・**589,700千円**

	設立時	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 決算（見込）
利益	—		390,521	88,008		304,677
損失	—	113,275			80,232	
年度末積立金額	—	—	277,246	365,254	285,022	589,700

(2) 損益計算による損益と現金預金残高の増減の関係について

純損益は損益計算による1年間の法人の損益額を表しているが、純損益の額と実際の現金預金の増減額とは一致しない。

その理由は、損益計算上は費用として計上するが資金支出を伴わない減価償却費や、損益計算上は計上しないが資金支出を伴う借入金返済（元金償還金）などがあるためである。

法人における純損益と現金預金残高の関係は下表のとおりである。

		設立時	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 決算（見込）
I 業務	当期純損益	—	▲113,275	390,521	88,008	▲80,232	304,677
	減価償却費	—	294,440	578,956	575,629	619,903	635,352
	資産見返負債戻入その他		▲158,738	▲435,577	▲266,134	▲250,185	▲220,542
II	設備投資等	—	▲96,170	▲205,066	▲651,219	▲563,239	▲200,291
III 財務	長期借入金		63,000	241,200	628,000	542,900	153,900
	借入金返済	—	▲232,605	▲607,026	▲582,244	▲632,831	▲727,162
	現金預金	2,036,023	1,792,675	1,755,683	1,547,723	1,184,039	1,129,973

※ 資産見返負債戻入は、設立団体からの譲与や補助金等によって取得した償却資産について、減価償却に応じて計上する現金収入を伴わない会計上の収益

【法人の利益積立金処分案】

地方独立行政法人明石市立市民病院の、第1期中期目標期間の最終事業年度である平成27年度において生じた積立金については、病院の運営上、現金預金を留保しておく必要があるため、積立金全額について第2期へ繰り越すこととしたい。